

2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月14日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL https://www.istyle.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	23,186	△1.8	△624	-	△822	-	△1,392	-
2020年6月期第3四半期	23,609	△1.7	△1,398	-	△1,472	-	△4,261	-

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 △1,230百万円(-%) 2020年6月期第3四半期 △4,409百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	△20.42	-
2020年6月期第3四半期	△65.34	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	21,119	6,255	28.7
2020年6月期	24,157	5,413	21.5

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 6,052百万円 2020年6月期 5,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年6月期	-	0.00	-	-	-
2021年6月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,900	1.1	△620	-	△840	-	40	-	0.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期3Q	74,146,800株	2020年6月期	68,043,800株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	2,693,567株	2020年6月期	2,693,533株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期3Q	68,179,702株	2020年6月期3Q	65,205,215株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は2021年5月14日にアナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

化粧品業界におきましては、「新型コロナウイルス（COVID-19）」（以下、「新型コロナウイルス」という。）の影響により、消費者の購買意欲の低下や、外出自粛による化粧をする機会の減少、インバウンド需要の蒸発などにより、依然として景況感が厳しい状況にあります。各化粧品メーカーはこの状況を受け、広告媒体のデジタルシフト、EC販売の強化などDX^{*1}を推進していく傾向が強く、これによりプラットフォームとしてメディア・EC・店舗を一体化したサービスを提供する当社グループが享受できる事業成長の機会は、増加するものと見込んでおります。

当社グループは、前期における新型コロナウイルスの影響やGlobal事業の不振による業績悪化から再度成長軌道に乗せるため、当連結会計年度においては不採算事業の整理・撤退ならびに収益部門の強化に注力しております。

売上高におきましては、新型コロナウイルスの影響により依然として低調な推移となっておりますが、Beauty Service事業のECが大幅に成長したことで前年同水準での着地となりました。

営業利益におきましては、新型コロナウイルスの影響を大きく受けている大型旗艦店「@cosme TOKYO（アットコスメトーキョー）」（以下、「大型旗艦店」という。）及び香港店舗の業績不振により連結全体で赤字となりましたが、Global事業をはじめ各事業における徹底した経費削減により、前年同期比で赤字額を約8億円縮小いたしました。その結果、営業利益率を前年同期△5.9%から△2.7%まで改善し、黒字転換に近づきました。

その他、持分法による投資損失193百万円を営業外費用に計上しました。また、マレーシアのEC運営会社の譲渡に伴う関係会社株式売却損173百万円、海外店舗の整理・撤退に伴う損失や減損174百万円等を計上したことにより、特別損失は453百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	23,186百万円（前年同期 23,609百万円 / 前年同期比 1.8%減）
営業損失	624百万円（前年同期 営業損失 1,398百万円）
経常損失	822百万円（前年同期 経常損失 1,472百万円）
税金等調整前四半期純損失	1,238百万円（前年同期 税金等調整前四半期純損失 4,434百万円）
親会社株主に帰属する四半期純損失	1,392百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失 4,261百万円）

※1 デジタルトランスフォーメーションの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応しデータとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

①On Platform事業

当セグメントには、当社が運営するコスメ・美容の総合サイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした各種サービス（BtoB、BtoC）が属しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの影響で停滞していた営業活動が正常化に向かった一方で、新型コロナウイルスの影響に伴うクライアントの予算の保守化が継続していることにより、広告・ソリューションサービスが減収となりました。「ブランドオフィシャル」も同様の影響を受けており解約があったものの、継続的なコミュニケーションにより導入数は当第3四半期においては増加に転じました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	5,130百万円（前年同期 5,943百万円 / 前年同期比 13.7%減）
営業利益	980百万円（前年同期 1,292百万円 / 前年同期比 24.1%減）

②Beauty Service事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme SHOPPING（アットコスメショッピング）」の運営、化粧品専門店「@cosme STORE（アットコスメストア）」や大型旗艦店の運営等、国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

ECにおきましては、新型コロナウイルスの感染防止を目的とした外出自粛による需要増やECのスペシャルイベント

「@cosme Beauty Day (アットコスメビューティーデイ)」の寄与、継続的なMD強化やキャンペーン施策などにより、売上高は67.5%増と引き続き高い成長率を維持しております。

店舗におきましては、1月に発令された緊急事態宣言の影響により来店客数が更に減少したこともあり、依然として厳しい状況が続いておりますが、大型旗艦店(2020年1月にオープン)の売上寄与により増収となりました。

利益におきましては、ECの大幅な成長や店舗における経費削減、大型旗艦店のオープン前における先行費用がなくなったこと等により赤字幅が縮小し、当第3四半期連結会計期間においては黒字転換いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	13,772百万円(前年同期 11,785百万円 / 前年同期比 16.9%増)
営業損失	290百万円(前年同期 営業損失 697百万円)

③Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するEC・卸売、店舗、メディア等のサービスが属しております。

EC・卸売におきましては、売上より黒字転換を優先する方針に前期から転換したことに加え、マレーシアのEC運営会社を譲渡したことにより減収となりました。

店舗におきましては、香港における新型コロナウイルスの影響で客足の戻りが鈍いことや、前第3四半期に台湾の4店舗を全て閉鎖したことにより減収となりました。

利益におきましては、前期から実施しております不採算事業の整理・撤退により収益性が改善され、赤字幅を縮小しての着地となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	3,478百万円(前年同期 4,726百万円 / 前年同期比 26.4%減)
営業損失	146百万円(前年同期 営業損失 606百万円)

④その他事業

当セグメントには、美容部員を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

人材派遣事業におきましては、新型コロナウイルスの影響により減収となりました。

投資育成事業におきましては、当第3四半期連結累計期間における営業投資有価証券の売却がほぼなかったため、減収となりました。

利益におきましては、取得価額が実質価額と著しく乖離する営業投資有価証券に対して52百万円の減損処理等を行ったため赤字となっておりますが、人材派遣事業における経費削減によって当第3四半期連結会計期間においては黒字転換いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	806百万円(前年同期 1,155百万円 / 前年同期比 30.2%減)
営業損失	20百万円(前年同期 営業利益 12百万円)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ3,038百万円減少し、21,119百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,393百万円減少し、11,676百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,469百万円、商品が756百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ645百万円減少し、9,443百万円となりました。これは主に、有形固定資産が539百万円、投資有価証券が122百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ3,880百万円減少し、14,865百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ2,846百万円減少し、6,307百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,500百万円、1年内返済予定の長期借入金が521百万円、賞与引当金が182百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,034百万円減少し、8,557百万円となりました。これは主に、長期借入金が765百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ842百万円増加し、6,255百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が1,392百万円減少したものの、株式会社ロゴガイドからの第三者割当増資の払込等により、資本金が1,053百万円、資本剰余金が1,054百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2021年5月14日付「通期連結業績予想に関するお知らせ」のとおり、2月12日付で取り下げ未定としておりました通期連結業績予想について、以下のとおり改めて公表いたしました。

<修正後の2021年6月期通期連結業績予想>

売上高	30,900百万円
営業損失	620百万円
経常損失	840百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	40百万円

<通期連結業績予想における計画の前提条件>

当該業績予想は、第4四半期の業績見込みを以下の前提で策定しており、新型コロナウイルスの感染状況によっては、更なる影響を受ける可能性があります。

・On Platform事業

現時点における受注状況を精査した上で計画数値を策定。クライアントによる広告出稿の意欲が回復したことにより、第3四半期連結会計期間に比べて増収する見込み。

・Beauty Service事業

店舗におきましては、4月に発令された緊急事態宣言の要請を受け、都内の一部主要な店舗が約2週間休業したことや、時短営業の継続、外出自粛による客足の減少等の影響を加味したうえで計画数値を策定。第3四半期連結会計期間からは大きく減収する見込み。

ECにおきましては、引き続き好調に推移していることや直近の動向を鑑みて、第3四半期連結会計期間と同水準での着地を見込む。

・Global事業

海外事業におきましては、外部環境における景況感に特段の変化はなく、第3四半期連結会計期間と同水準での着地を見込む。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,647	5,178
受取手形及び売掛金	2,615	2,928
商品	3,078	2,322
営業投資有価証券	914	895
その他	884	423
貸倒引当金	△5	△5
投資損失引当金	△65	△65
流動資産合計	14,069	11,676
固定資産		
有形固定資産	2,631	2,092
無形固定資産		
のれん	468	393
ソフトウェア	2,598	2,595
その他	162	326
無形固定資産合計	3,228	3,314
投資その他の資産		
投資有価証券	1,834	1,712
敷金及び保証金	1,986	1,937
その他	409	389
投資その他の資産合計	4,229	4,038
固定資産合計	10,088	9,443
資産合計	24,157	21,119

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,437	1,443
短期借入金	3,000	1,500
1年内返済予定の長期借入金	1,652	1,130
未払法人税等	145	64
賞与引当金	230	48
店舗閉鎖損失引当金	35	—
関係会社整理損失引当金	—	78
事業構造改善引当金	24	4
その他	2,631	2,040
流動負債合計	9,153	6,307
固定負債		
長期借入金	9,122	8,356
その他	470	201
固定負債合計	9,592	8,557
負債合計	18,745	14,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,703	4,756
資本剰余金	2,882	3,937
利益剰余金	△822	△2,214
自己株式	△280	△280
株主資本合計	5,484	6,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76	△51
為替換算調整勘定	△216	△95
その他の包括利益累計額合計	△292	△146
新株予約権	97	59
非支配株主持分	125	143
純資産合計	5,413	6,255
負債純資産合計	24,157	21,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	23,609	23,186
売上原価	12,579	12,529
売上総利益	11,030	10,657
販売費及び一般管理費	12,429	11,280
営業損失(△)	△1,398	△624
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	5	3
助成金収入	1	102
受取和解金	10	—
その他	18	50
営業外収益合計	37	157
営業外費用		
支払利息	36	49
為替差損	—	75
投資事業組合運用損	4	13
持分法による投資損失	60	193
その他	10	25
営業外費用合計	111	356
経常損失(△)	△1,472	△822
特別利益		
新株予約権戻入益	77	38
特別利益合計	77	38
特別損失		
減損損失	2,963	174
投資有価証券評価損	30	—
関係会社株式売却損	—	173
賃貸借契約解約損	—	38
関係会社整理損	—	14
関係会社整理損失引当金繰入額	—	55
店舗閉鎖損失	37	—
移転費用	9	—
特別損失合計	3,039	453
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,434	△1,238
法人税等	△99	146
四半期純損失(△)	△4,335	△1,384
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△74	9
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,261	△1,392

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△4,335	△1,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	25
為替換算調整勘定	△30	129
その他の包括利益合計	△74	154
四半期包括利益	△4,409	△1,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,341	△1,246
非支配株主に係る四半期包括利益	△68	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月25日付で、株式会社ロゴガイドから第三者割当増資の払込により、資本金が1,052百万円、資本準備金が1,052百万円増加いたしました。当第三者割当増資等の結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,756百万円、資本剰余金が3,937百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

日本では再度の緊急事態宣言が発令される等、日本を含む多くの国で新型コロナウイルス感染症の一時的拡大がみられ、日本国内外の一部店舗においては、営業時間の短縮等による影響を受けております。

前連結会計年度では、2021年6月期の第1四半期まで影響を受けるものの、2021年6月期の第2四半期から徐々に回復すると想定しておりましたが、連結会計年度の仮定を半年程度後ろ倒しし、2021年6月期の第4四半期より徐々に回復するという仮定に変更し、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、国内店舗におきましては、一部店舗において緊急事態宣言を受け休業しているため、2021年6月期の第4四半期においては、一時的に減収となるものの、2022年6月期の第1四半期より徐々に回復すると想定しております。

また、香港店舗におきましては、入境制限の延長が発表されており、上記仮定をさらに半年程度後ろ倒しし、2022年6月期の第2四半期より徐々にインバウンド需要が回復するという仮定に変更しております。これにより、一部の店舗で減損損失を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	5,943	11,785	4,726	1,155	23,609	-	23,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	17	8	5	43	△43	-
計	5,957	11,802	4,734	1,160	23,652	△43	23,609
セグメント利益又は損失 (△)	1,292	△697	△606	12	2	△1,400	△1,398

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,400百万円は、セグメント間取引消去△1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,399百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「On Platform事業」において、当初想定していた収益が見込めないため、一部の資産グループについて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において4百万円であります。

「Global事業」において、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗及び資産グループについて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において2,959百万円あります。

(のれんの金額の重要な変動)

「Global事業」において、連結子会社であるHermo Creative (M) Sdn. Bhd. 及びMUA Inc. 各社の事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、同社株式取得時に計上したのれん未償却残高の全額2,296百万円を当第3四半期連結累計期間に減損損失として特別損失に計上しております。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損も含めて記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	5,130	13,772	3,478	806	23,186	-	23,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	164	46	43	5	259	△259	-
計	5,294	13,818	3,522	811	23,445	△259	23,186
セグメント利益又は損失 (△)	980	△290	△146	△20	525	△1,149	△624

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,149百万円は、セグメント間取引消去13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,162百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「On Platform事業」において、当初想定していた収益が見込めないため、一部の資産グループについて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において71百万円であります。

「Global事業」において、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗及び資産グループについて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において94百万円であります。

各報告セグメントに配分していない全社資産において、一部の資産の使用を停止したため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において9百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「On Platform事業」において、連結子会社である株式会社Eat Smartの事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、同社株式取得時に計上したのれん未償却残高の全額42百万円を当第3四半期連結累計期間に減損損失として特別損失に計上しております。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損も含めて記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(当社子会社が保有する投資有価証券の売却)

当社は、保有資産の有効活用および財務体質の強化を図るために、当社グループが保有する投資有価証券の売却を2021年4月26日開催の取締役会で決議しました。

1. 株式売却の理由

保有資産の有効活用および財務体質の強化を図るため

2. 売却する株式の内容

当社子会社が保有する非上場株式1銘柄

3. 売却の時期

2021年5月中(予定)

4. 当該売却により連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2021年6月期第4四半期連結会計期間において、下記の通り特別利益を計上する見込みです。

投資有価証券売却益：約1,825百万円

※想定為替レート1USD=108円で計算しております。

為替レートの変動等により最終的な損益は、変更となる可能性があります。